

石狩藩
石狩城

渚こっち
こっち!

千姫様：
一人でそう遠くへ行かれては
危のうございます!

渚は心配性だなあ
大丈夫だよ

もし千姫様の身に
何かあったら私の死を
もってしても償いきれませぬ

石狩城が城主
石狩新左エ門の一人娘「千姫」
側近にも恵まれ何不自由ない
幸福な生活を送っていた

真に千姫様は
この国の宝ですからな

もう海斗まで
大袈裟だよ...

そんな幸福がずっと
続くと思っていた……
そう……ずっと……



—ここは地獄—



みな鬼となる地獄—

二日前

將軍様：箕輪城が
鬼共に落とされました

そうか…

ならばいよいよ来るか…
ここにも鬼が…

精天童子—
その気性の荒さも
さることながら性にどこまでも
貪欲な異形の鬼

その凄まじき強さで次々と
城を落とし国を滅ぼしては
勢力を拡大していた

強さの秘密は
元来備わっている
鬼の力もさる事ながら
その繁殖力にあった

城を落とし
国を征服すると

その国の民を
残らず鬼に
変えてしまうのだ

鬼にされた女は食欲と性衝動のみに
突き動かされ人間を見かければ襲い喰い
オスの鬼を見かければ交尾をし
新たな鬼を身籠る

身籠った子はわずか
一カ月とゆう早さで
出産するー

鬼にされた男は
食欲と性衝動に加え
強い破壊衝動により
凶暴かつ凶悪な存在となる



征服した国の民を
鬼にしてその鬼同士で
交配させ更に鬼の
数を増やし戦力にする

この方法で
精天童子は凄まじき
勢いで勢力を拡大
していった



んふ♥
わし日の本
征服しちゃうかも♥

將軍様…

うむ…



兵よ聞け!!
今こそ一丸となつて
鬼に立ち向かい

奴等を
駆逐するのだ!!

戦に参加する
兵のほとんどには
大切な親。家族がおるはず

もし我々が破れることが
あれば必ず弱き者達が
危険に晒される事となる

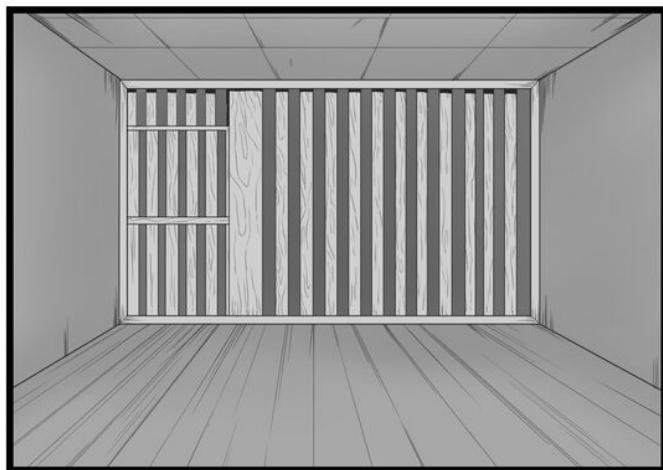
大切な親や妻そして子供を
守る為にも我々は
何としても敗れるわけにはいかん

今こそ
命を賭して戦うぞ!!

オオオオオ

ぶははははははは!!
はい落城♥

この国の金品財宝も女も
わしのモンー♥



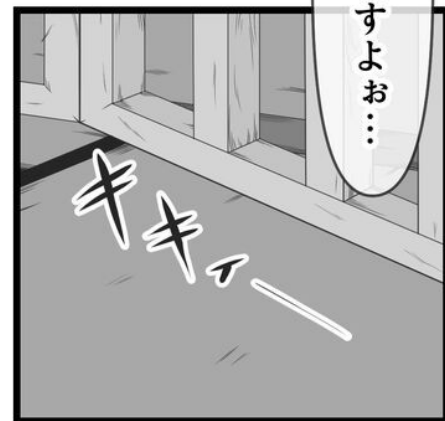
そして千姫にとって
地獄の日々が始まる…



こうして一日とかからず
石狩城は落城—
鬼達の手に落ちた…

ぶははははははは!!







ただの召使い如きが
調子こくんじゃねえぞ

グ
イ

うっ…



おいババア
余計な事言ってるじゃねえ!

プリン♡



はっ

おい!とつとと
やっちまえ!

いだっ!?

プス



申し訳ありません千姫様
無様に捕まってしまった



な…渚…生きていたのね…



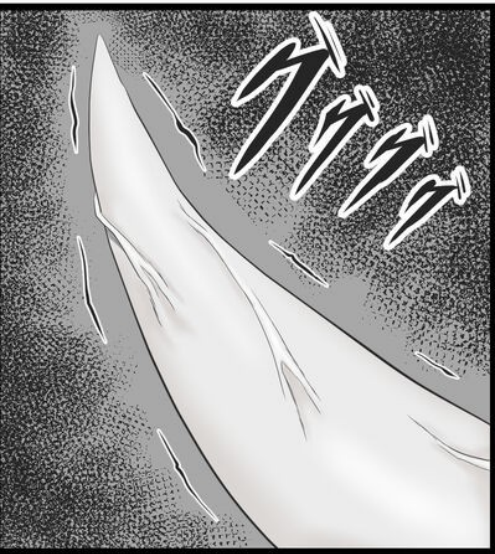
せんひ…め…さ…

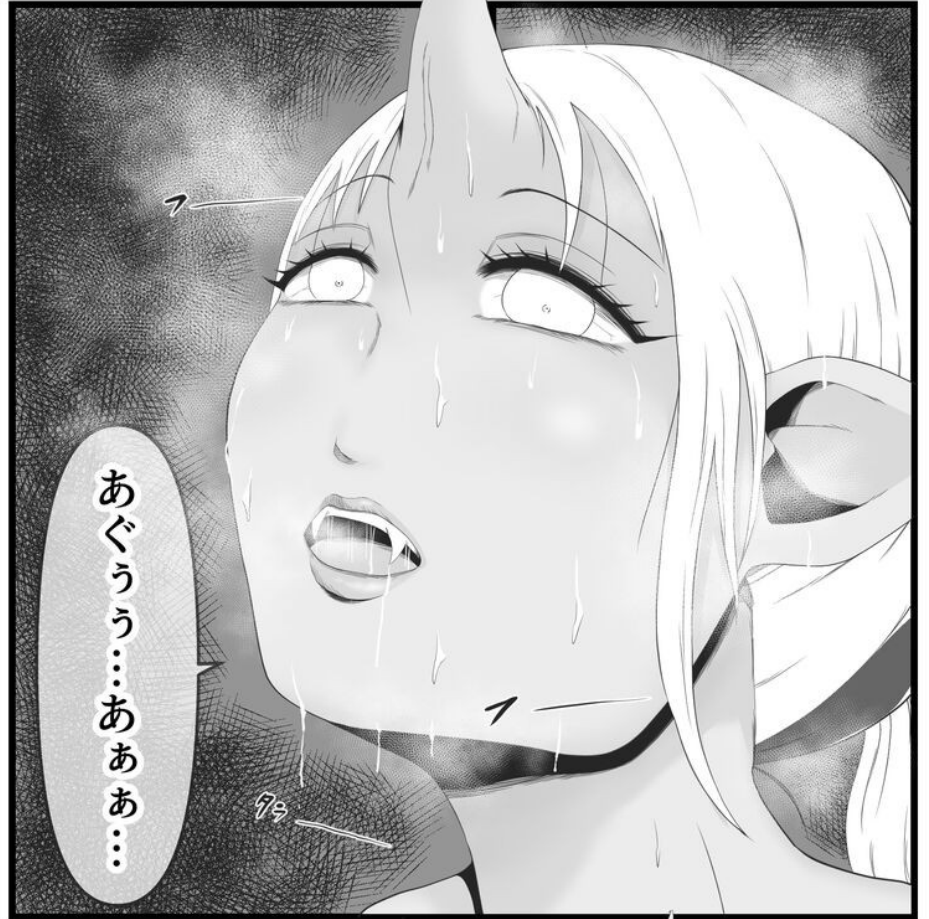


な…渚?



何を言っているの
無事に生きていてくれて
良かったわ



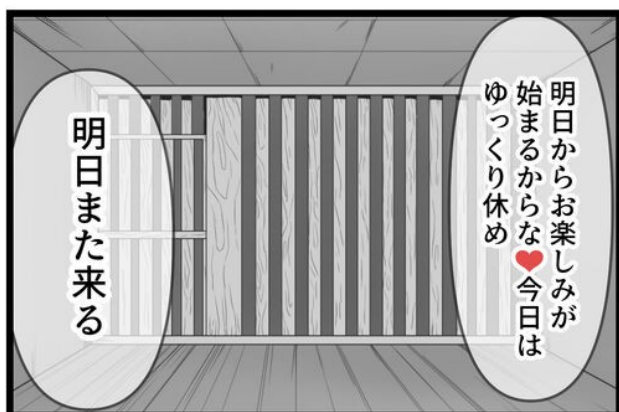


問うぞ千姫

お前もこうゆう
低俗な「餓鬼」に
なりたいか？

ポポポポ♡

ポポポ♡

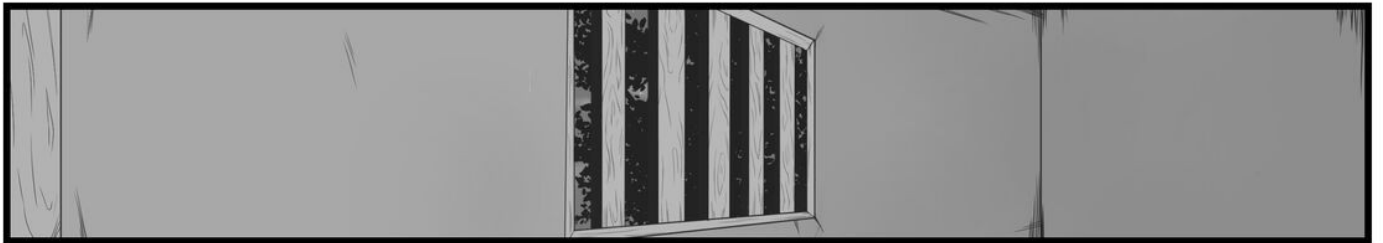


明日からお楽しみが
始まるからな♡今日は
ゆっくり休め



わしの言うことを
ちゃんと聞けば絶対に
「餓鬼」なんかにはせんぞ







旧知の仲である真田家
真田久義殿が
鬼の形相で…

貴方を取り戻しに
来るでしょう!!

監禁生活
三日目



千姫♥
今から何をするか…

まあ分かんねえわな…



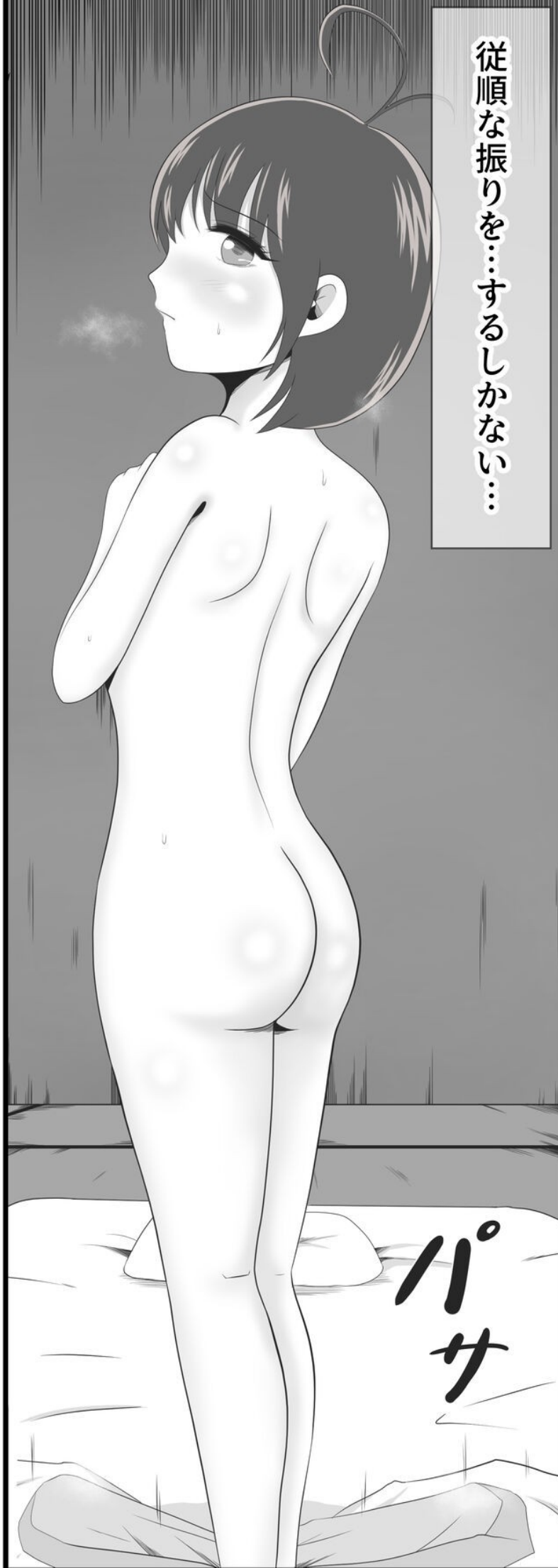
二日…
あと二日待てば…

あたし…今から一体
何をされるの

わ…分かりません…



従順な振りを…するしかない…



大興奮だぜー♥

おっほー♥
いいじゃねーか千姫♥



おいもつとちやんと
見せろ…うーんでも
やっぱりまだメスっぽさが
足りねえなあ…

何…もしかして…
あたしの…裸を見て
興奮するって言うてるの？

やだ…
すごく恥ずかしい…

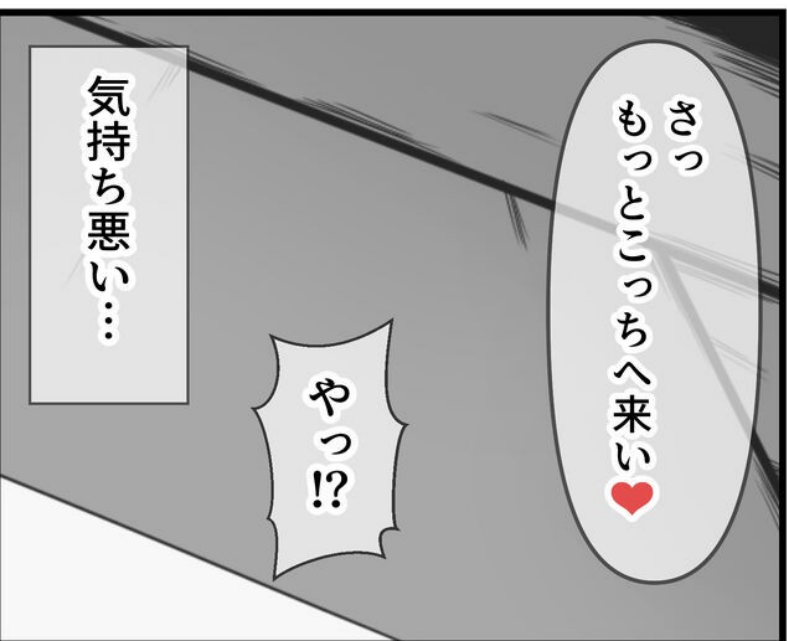
これからじっくり
メスに開発してやる
からな♥



さっ
もっとこっちへ来い♥

やっ!!

気持ち悪い…



どんな気分だ千姫
ちなみに俺は
サイコーの気分だぜ

生温かい体温が
伝わってくる…
すごく気持ち悪い…

こ…怖いです
今から…何を
するんですか…?

千姫や…子供ってのは
どうやって出来るか
知ってるか?

ぶははっ！違う違う
千姫よ…

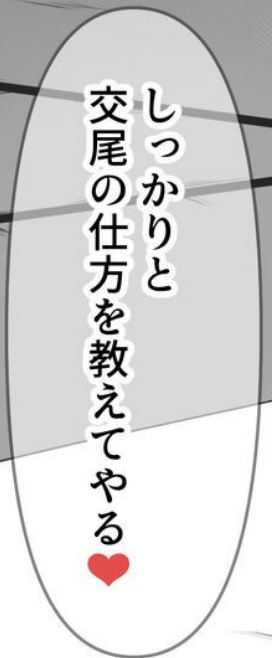
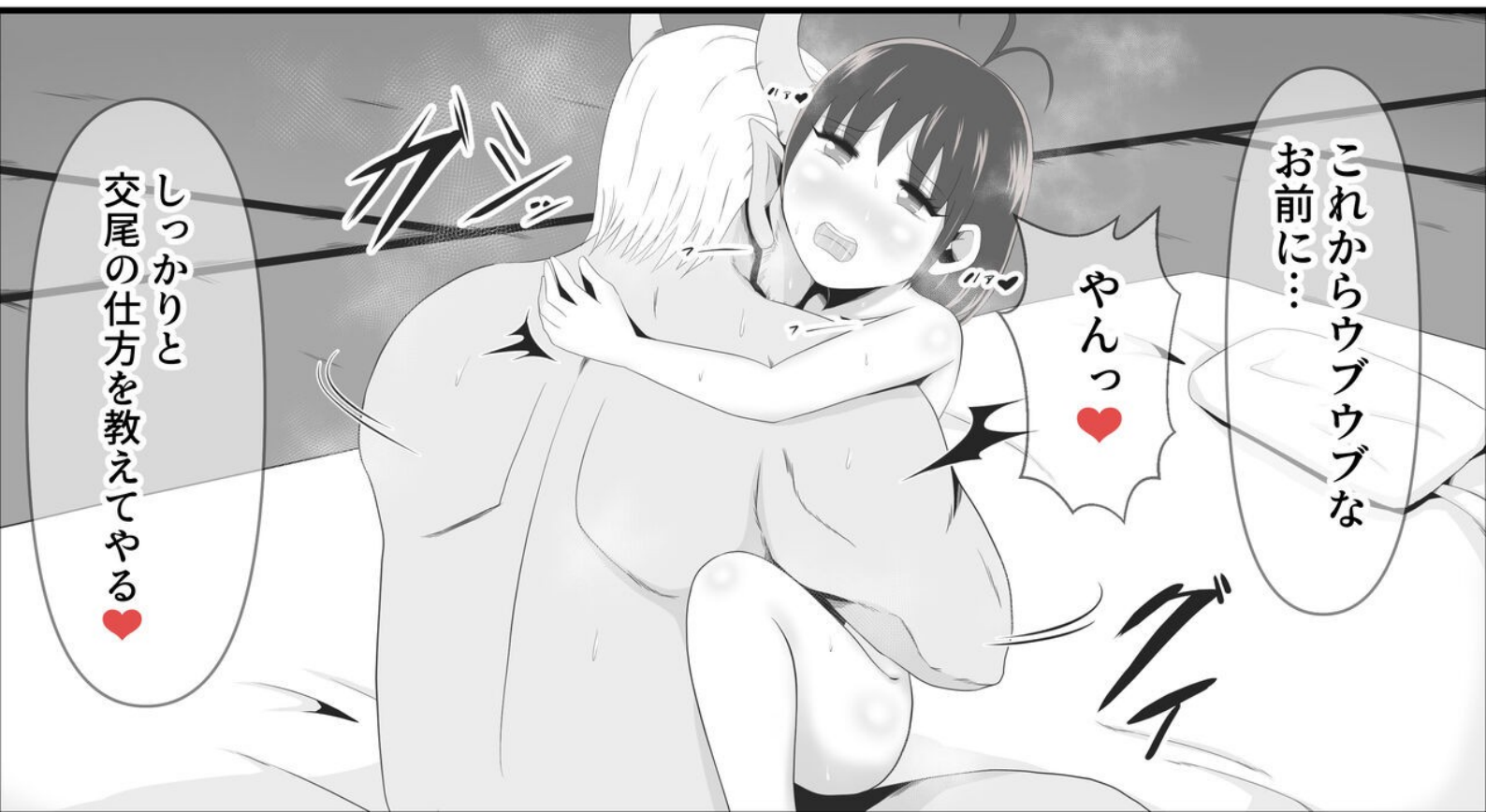
それは…鶴が
運んで…

子供って
いうのはな…

え……？

くい

ピチュ♡





なんせお前には
わしの子供を産んで
もらわなければいかんのでお：

あつ…♥
ふやあああつ…

子供：嘘でしょ…
この鬼の子：あたし
化物の子を産むの：



耳

やっ♥



背中

あふつ♥うあああつ♥



ふああつ♥

心配するな
わしに任せろ

子を孕んだ暁には
お前をわしの十一番目の嫁に
もらってやるのでお

胸

んっふううう
うんまっ ♡

ふやあっ ♡
あっ ♡ はっ ♡ あん ♡

しりー

いやあっ ♡ あっ ♡
ああああ... ♡

あたしはひたすら
身体を一时间近く
舐められ続けた：





あたしも…渚みたいに
鬼にされちゃう…



一日待てばいい…
あと一日…そしたら必ず
助けが来るから…それまでは
でなければ…

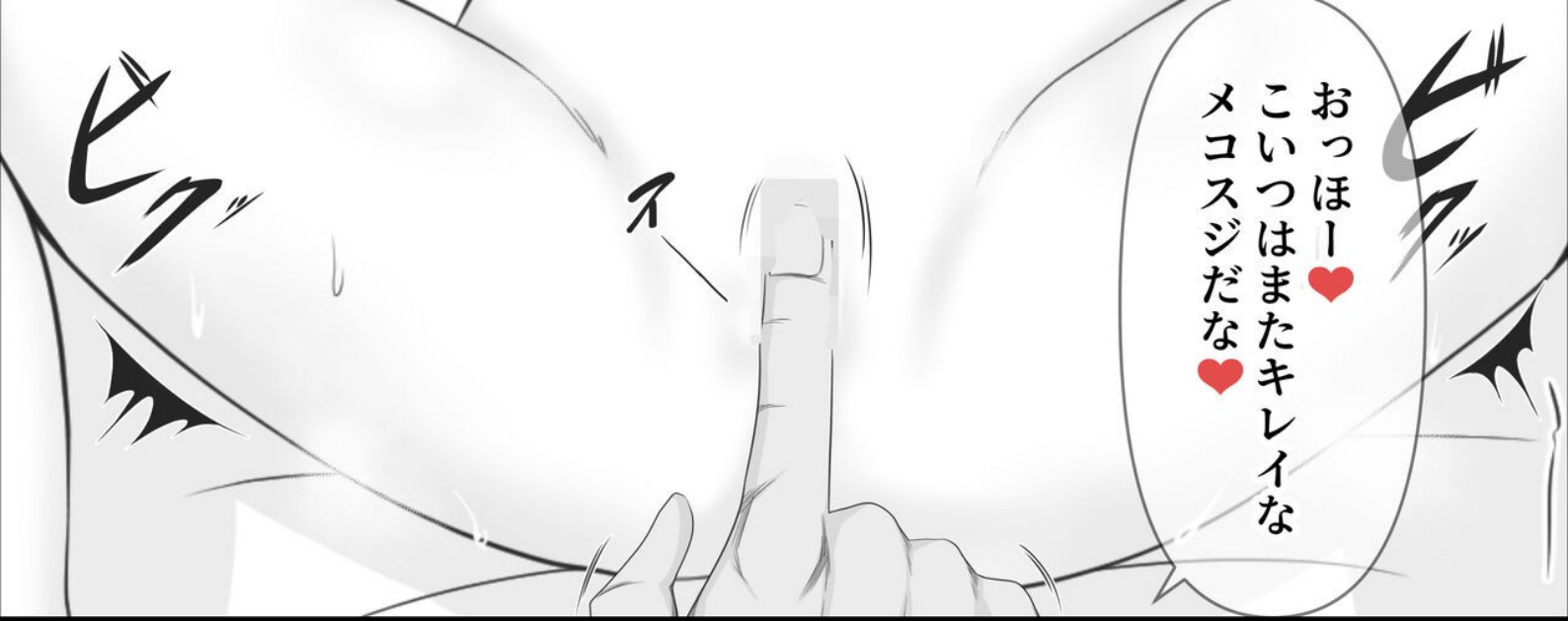


布団に寝転がって
股を開け…

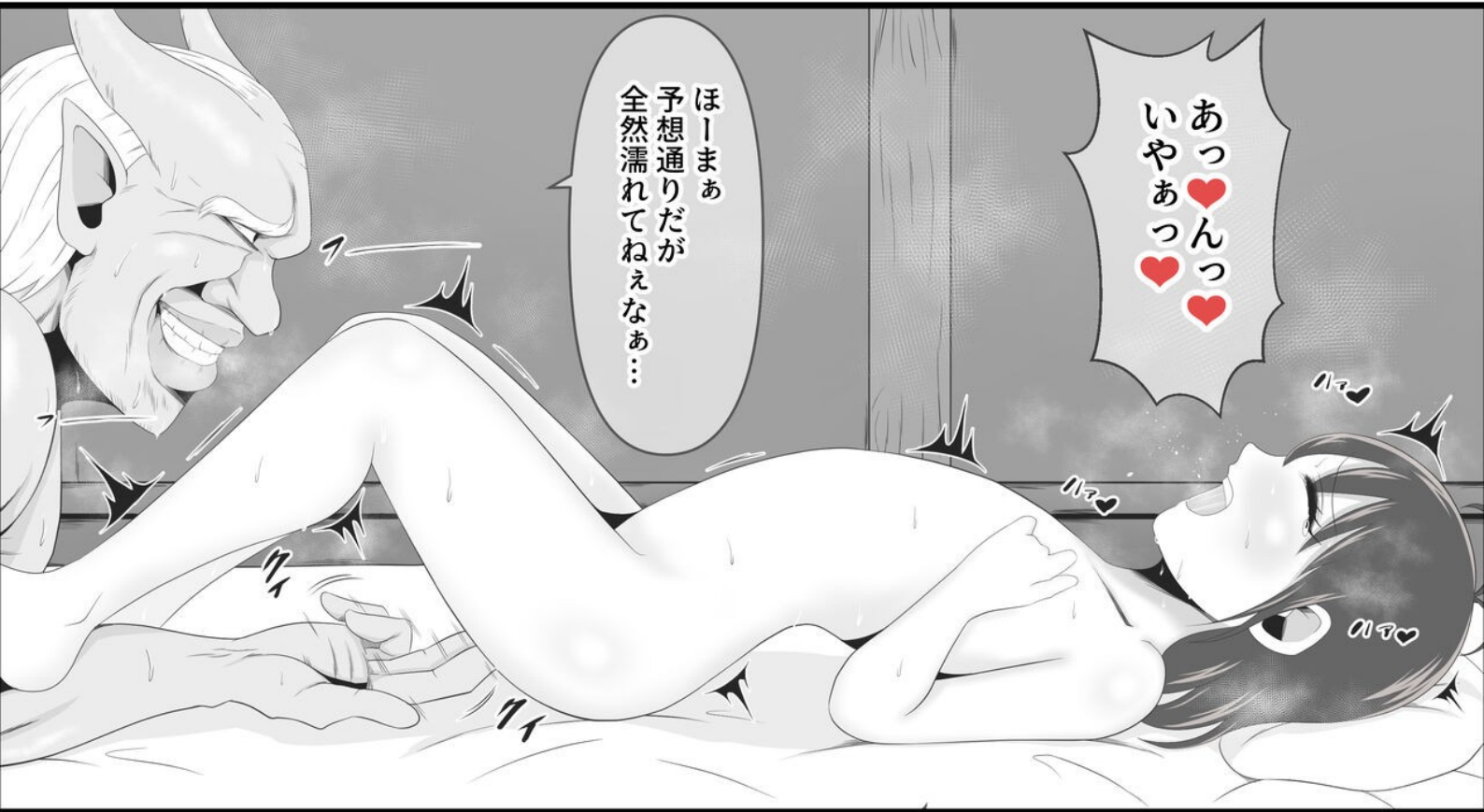
…は…はい…



よし…じゃあ…



おっほー♥
こいつはまたキレイな
メコスジだな♥



あっ♥んっ♥
いやあっ♥

ほーまあ
予想通りだが
全然濡れてねえなあ…



チユル♥



あつやだそんなとこ…
おしっこの出るところ…!?



よーしどれどれ
じゃあ味見といくか…

いやあああ——
!!

この場で死んでしまいたいと
思うほどの嫌悪感…
鬼のやることなす事全てが
気持ち悪い…

ビチャ♡

ペチャ♡

まあ舐めても
濡れてこねえわな…

ぶはは…こいつは
明日が楽しみだ…

じゃーな千姫
また明日来るからよ

あと一日…

あと一日さえ
耐えきれば…

終わった…
何とか凌いだ…

うそ…
なに…これ…

目覚めてすぐ
あたしは自分の
身体の異変に
気づいた…

あたしは…
あたしの身体は
まごうことなき…

これ…
あたしの…おっぱい

どうゆう事…

女の身体に
なっていたのだ…



ポインポインの
乳袋じゃねえか♥
さすがは俺が見込んだだけの
ことはあるぜ♥

いや…なに…
これは一体どういう事？



どうしてー

ぶはははは千姫♥
こりや堪らねえーエロい身体に
なったなあ♥



「強制変化」だ
お前が俺と喜んで
セックス出来る身体に
強制的に成長させてやったんだよ

いやああ…

ふあああ…いやだ
何てはしたくない…
こんなに股を開かれて

俺の唾液には
生物を強制的に
成長させる力があるんだ

もみ♥

あたしの膨らんだ
おっぱいを…
驚掴みにしてる…



いただきまふ♥



ぶは!えつろ!
じゃあこのたまんねえー乳を
ねぶり回すぞお♥



ふんっつっつ♥



昨日舐められた時と全然違う…

あっ♡
ふんっ♡んあああ♡



頭のとっぺんが痺れて…お腹の奥がキュンってなる…

ふんっん♡



どーだ千姫♡
気持ちいいだろ？

いや…そんなの分かりません…



分かんなくねえーだろ女になったお前の身体はこんなにも素直に反応してるだからよお♡

やんっ♡



うそ…何これ…すごい
すごく…変な感じがする…

あっ♡ああああっん♡

おかしい：昨日までは
嫌悪感しかなかったはずの
この男の身体：でも何故だか
今日はこの逞しい身体に
抱かれると

胸の鼓動が高鳴って
身体が火照ってくる

硬くて太いチンポ：
この形が：この硬さが：
このニオイが：あたしの
頭をおかしくさせる

ダメ：あたし：もう
昨日までのあたしに戻れない



父上…母上…ごめんなさい
あたし…ふしだらな娘に
なってしまうました

え…？

俺のチンポを
受け入れてもらって
本物の女になって
もらおうか

よし！
それではいよいよ…



もしかして…
あたしのマンコに
あんな太いモノを
入れるつもり

ぶはははは！
こんなぐちよぐちよに
濡らして何を言っておる…

うそ！やだやだやだ…！
そんな大きいの
入んない！！

クチュ



あんっ

アチャ



では
❤️



いやあああああああああ……
❤️

いただきます
❤️



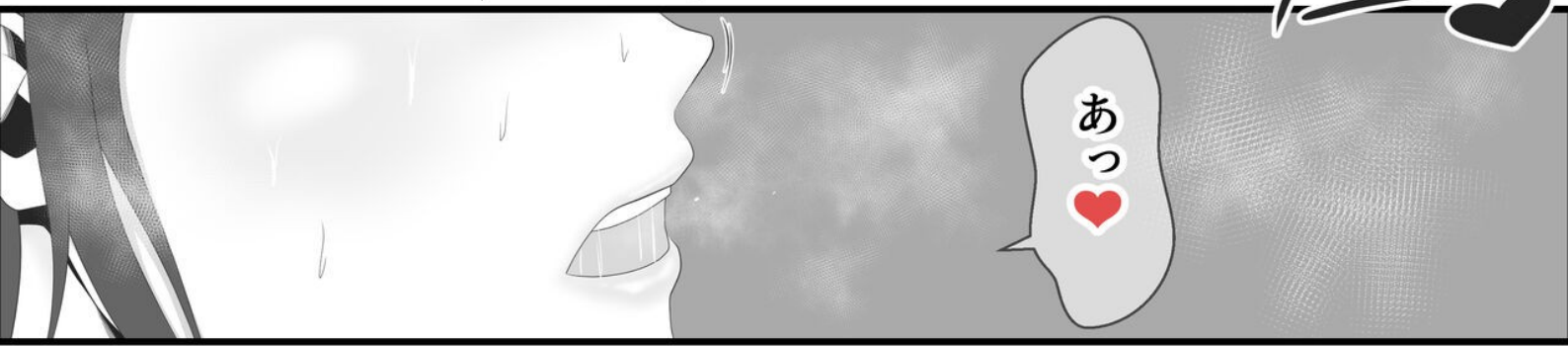
すごく…痛くて切ない…

チンポを
入れられちゃった…
これが交尾…



ふあっ♡こりゃ
たまらん締めり♡

サイコーだぞ
千姫♡



あっ♡



いった♡あんっ♡

あっ♡あっん♡
あん♡あん♡あっん♡

痛い…？
痛いけど…何か変…

グッチュ♡

グッチュ♡

いっ♡

硬いチンポで
突かれる度に
頭がジンジンして…

あんっ♡はっ♡
いっ…やっ♡
あっ♡あっ♡

んあっ♡

びびん♡

びびん♡

びびん♡

パン♡

身体の芯から
熱くなっていくのが
分かる…あたしの中から
何かが込み上げてくる

ダメ♡い…やっ♡
やだ…怖い怖い…んっ♡
何かくる…何か…
出ちゃっ…あっ♡あっ♡

ズ♡
チ♡
ユ♡

よし！じゃあ
そろそろ精子ぶっ放すぞ！
しっかり受け取れ干姫♡

あっ♡いやっ…ダメ♡
それだけは…やっ…

ズ♡
チ♡
ユ♡



あっはああああああんっ



んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



白い液…あたしの中に
出された…

あたし…妊娠
するんですか？



ふー
良かったぜ千姫



ちなみに俺の直系の子を
身籠れるのは『孕み鬼』っていう
俺の子作り専属の鬼だけで
『餓鬼』には無理だ…



そうなんだ…良かった…



心配するな人間のお前が
鬼の子供を孕む事はない…
あくまで鬼の子供を
身籠るのは鬼だけだ



こいつ…
一体何を言ってるの…

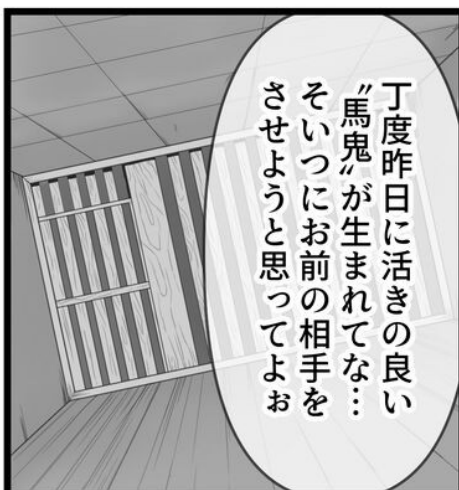
『馬鬼』っていう
鬼の精子を受精
しなきゃいけないんだ
まあ『馬鬼』に人間の
女を抱かせれば
いいんだが…



『餓鬼』は鬼の血液を体内に注入すれば
簡単に作る事が出来るが『孕み鬼』の
ような特別な鬼を作るには
それを作る専門の鬼がいてなあ



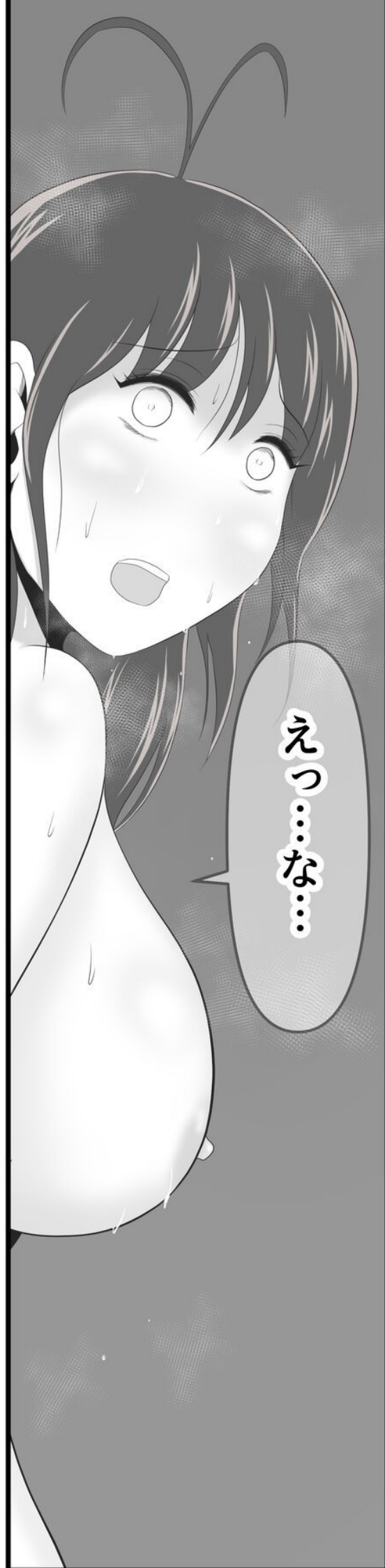
よし！入れ！



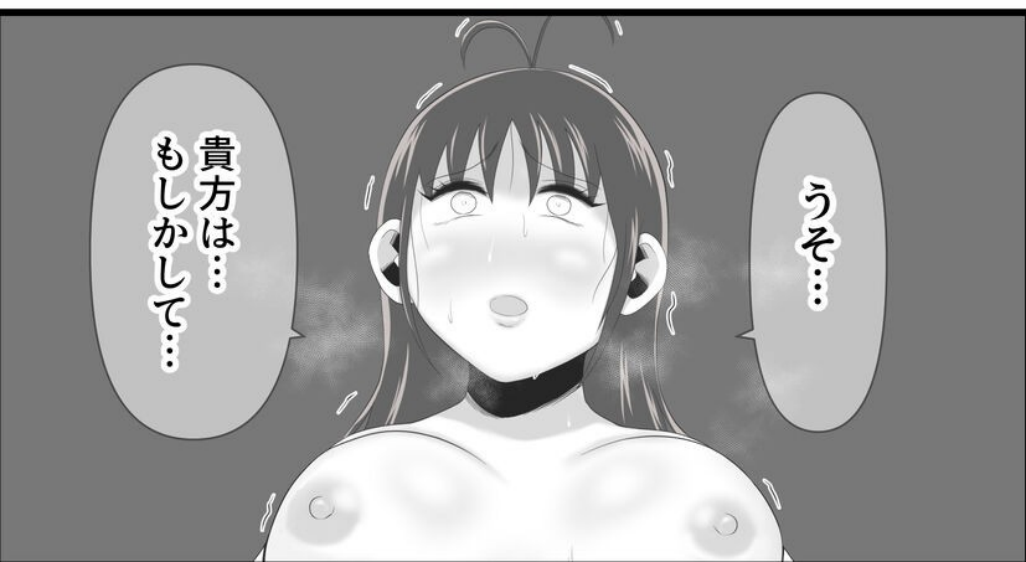
丁度昨日に活きの良い
『馬鬼』が生まれてな…
そいつにお前の相手を
させようと思ってるよお



ぐがるるるう...



えっ...な...



貴方は...
もしかして...

うそ...



がるるるるう…

いやあバカみたいに
こっちに向かってくる
軍勢がいたからよお

うそ…
いや…海斗…



ぶははは…感動の再会だな
そいつは鬼になる前は
お前の側近だったんだろ



ズオオオオオオオ

一人残らず
返り討ちにしてやったぜ!!
ぶははははははは!!



やんっ!



海斗の嘘つき...

四日待てば...
四日待てば助けにくるって
言ってたのに...



まっ俺はもう千姫の処女を
堪能したから満足だ
思う存分やっちゃまって
さっさと鬼にしてしまえ

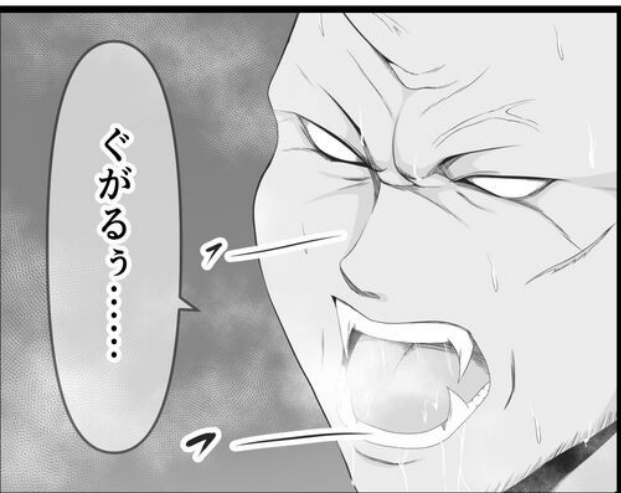


ぐるぐるるるう...

ググググ

ト

いやあ...



ぐがるう.....



ああ…本当に…ここは地獄…



すごく優しかった頃の
海斗の面影を薄っすらと
残した鬼…



あたしは力任せにチンポで
貫かれ…何度も何度も強引に
腰を打ち付けられた…



あれ…なんだが…
だんだん…
あたし…

ハァ♡

んあっ♡

ハァ♡



身体の色が変わって…

ズズズズ

えっ…?やだ…
うそ…何これ…

ハァ♡

ハァ♡



あっ!!うっ…!!
いや!!うそ…
やっぱり…あたし
鬼になんかなりたくない…



何か…もう全部…
どうでもよくなってきた…

あっ♡あんっ♡
あっ♡ああっ♡

あっ♡んっ♡

ズズズ

アッアッ

ゆっ♡

ハァ♡

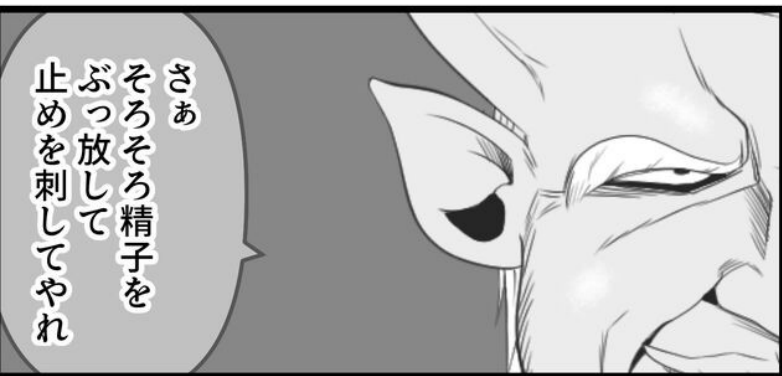
ハァ♡

ゆっ♡

♡



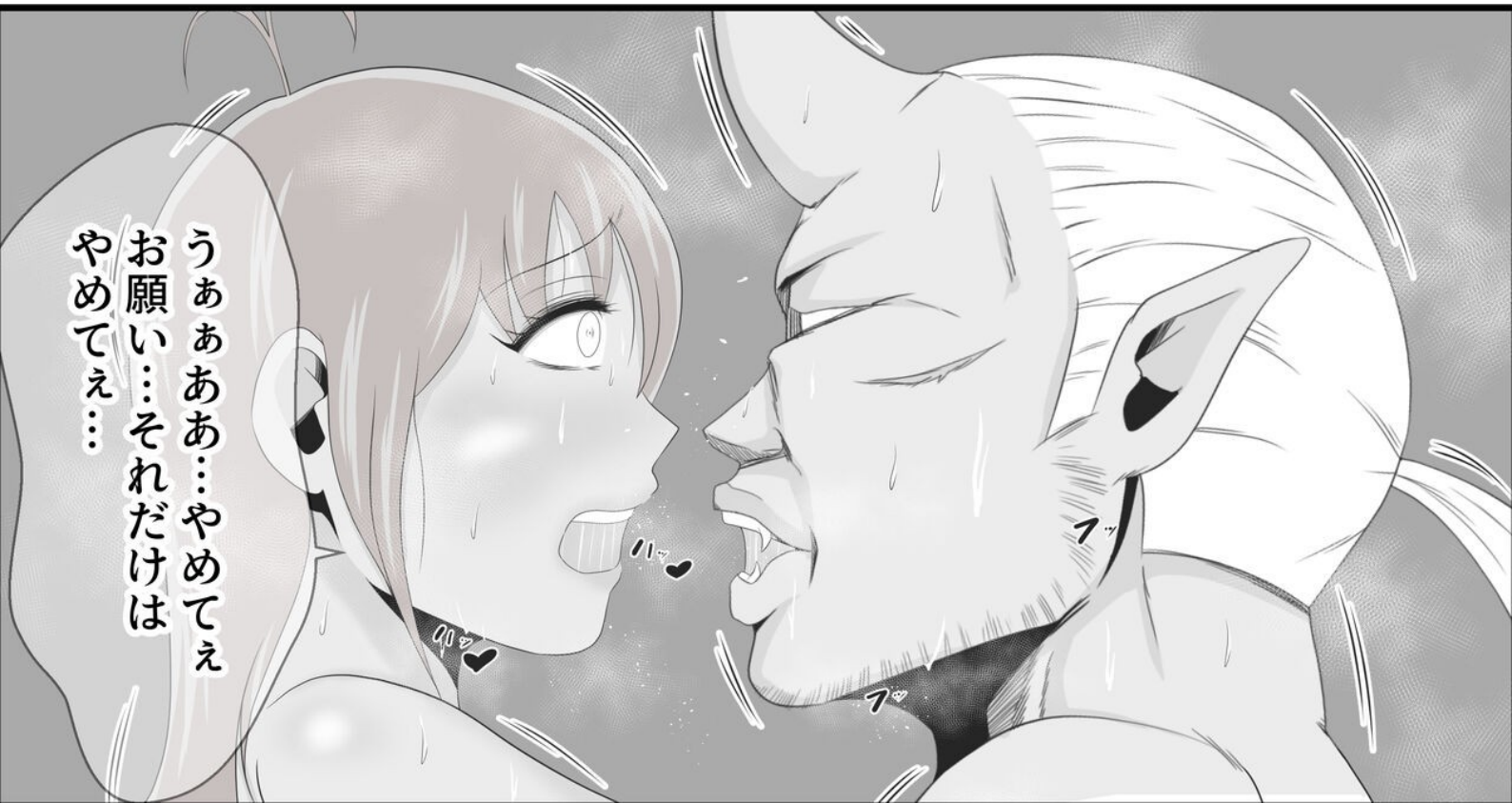
いやあああああああ
はなしてえ——!!



さあ
そろそろ精子を
ぶっ放して
止めを刺してやれ



ぶははは：
“馬鬼”の体液が
少しずつお前の体内に
浸透しだしたな



うああああ…やめてえ
お願い…それだけは
やめてえ…



いやああああああああああああ!!

エェルルル



ドッー



あざわらわ...わ...わ...



いや...だ...お願い...い
あた...しを...元に...
戻し...テエ...タスへ...

うるせえ!
もう遅えよバカ!



んんん...んんん...んんん



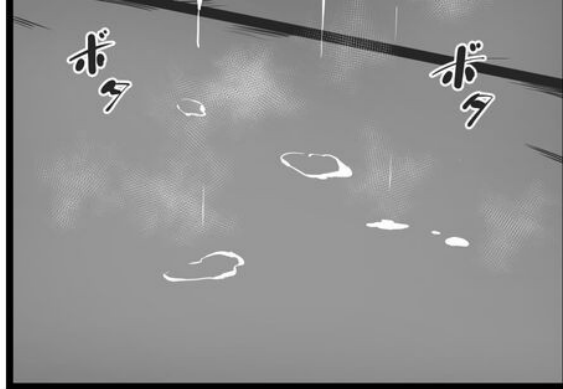
ぶああああああああ!!

グキ

父上。。。母上。。。



—ごめんなさい—



拾壹番目の
“孕み鬼”千姫

